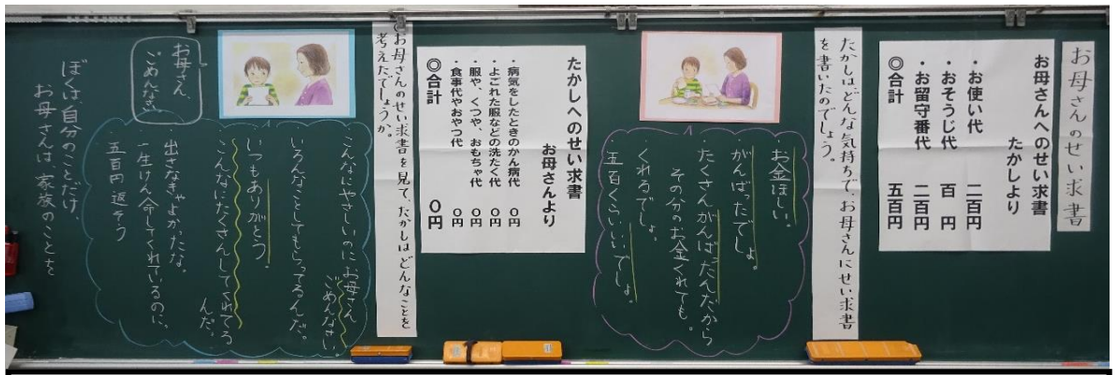
道徳通信

ひだまり

令和５年６月２８日（水）
足立区立中川東小学校
道徳通信　第３号
校長　豊田　純子
道徳教育推進教師　前田　康介

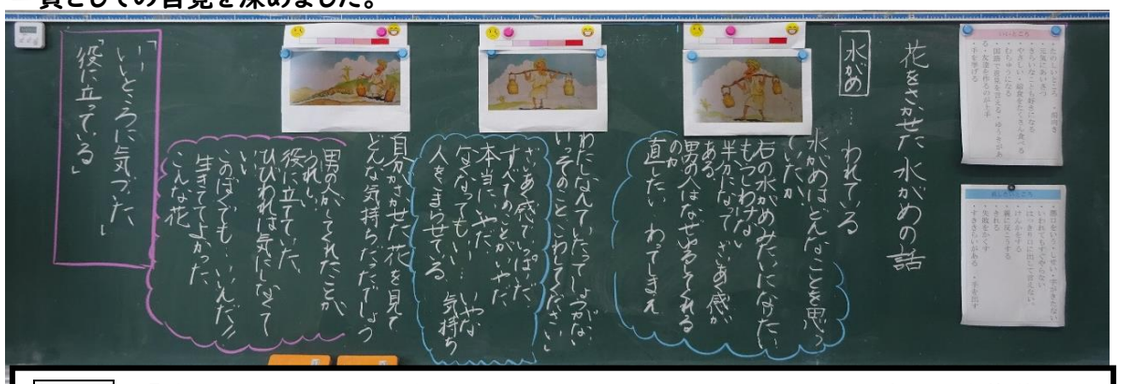
◇4年生の道徳の時間◇



教材名：『お母さんのせい求書』　　＜4 年2組田中学級＞
主題名：　家族の一員として（授業のテーマを「主題名」と表します）
ねらい：家族が日々、愛情をもって育ててくれていることに気付き、感謝の気持ちをもち、自分も家族の一員であることを自覚し、家庭生活に積極的に関わろうとする態度を養う。

このお話は、たかしが手伝いのお駄賃をもらおうと、お母さんに 500 円分の請求書を渡すことから始まります。お母さんからは、500 円とともにこれまでたかしの世話をした代金として 0 円と書かれた請求書が届きました。そして、たかしは自分への愛や自分の考えの浅はかさに気付くという内容です。

たかしの気持ちに共感した上で、家族が自分のためにしてくれていることに気付き、家族の一員としての自覚を深めました。



教材名：『花をさかせた水がめの話』　　＜4 年1組佐藤学級＞
主題名：　自分のよさを見付けてのばす（授業のテーマを「主題名」と表します）
ねらい：自分のことをよく知り、よいところを伸ばそうとする態度を養う。

これは、自分を卑下しているひび割れた水がめのお話です。水運びの道具としては不完全な水がめですが、水を汲む男の人が花の種をまき、ひびから垂れた水によって道に花をさかせることができたという内容です。

初めのころと花を見た後の水がめの気持ちを想像し、自分がきれいな花を咲かせることができた喜びを感じていることや自分のよさに気付いたことについて考えることができました。

道徳授業地区公開講座のご案内

子供の心の荒れやいじめ、情報モラルや規範意識の低下、人間関係能力の低下など、子供たちの心の危機が未だに叫ばれています。そのような中で、学校現場での心の教育の在り方や、その要としての道徳科の授業の在り方が一層問われています。

さて、今年度も本校では道徳授業地区公開講座を下記の要領にて開催することになりました。今年度は、道徳授業の公開や講師の先生のご講演に加え、学校関係者と保護者や地域の方々と子供たちの心の教育や道徳授業について協議する「懇談会」を実施します。ご多用の中とは存じますが、ぜひ多数ご参加くださいますようお願いします。

日時　令和5年7月8日（土）　9時20分～11時20分
会場　道徳授業　各教室　懇談会・講演会　体育館
内容・日程

9:20～10:05	道徳授業公開
	体育館へ移動
10:25～10:45	懇談会
	座席整頓
10:50～11:20	講演会

講師：江東区立明治小学校長
赤堀美子先生
テーマ：「心をそだてる」

授業公開一覧

年	組	指導者	資料名	主題名
1年	1	丹澤　峻	『だれも見ていない』	それをしてもいいのかな
	2	宮村　和沙	『だれも見ていない』	それをしてもいいのかな
2年	1	田中　詩帆	『雨上がり』	まよってもいいんだよ
	2	宮田　草平	『雨上がり』	まよってもいいんだよ
3年	1	五味　朋子	『見つからないリコーダー』	日ごろから大切なこと
	2	笛木　悟	『見つからないリコーダー』	日ごろから大切なこと
4年	1	佐藤　大輔	『友達のしょうこ』	自分の生活を見つめて
	2	田中　英恵	『休み時間のできごと』	すなおな心をもって
5年	1	坂地さち乃	『手品師』	誠実に生きる
	2	片桐　明生	『手品師』	誠実に生きる
6年	1	前田　康介	『のりづけられた詩』	自分の心に正直に
	2	高島　憲也	『会話のゆくえ』	責任と規律ある行動